

での間に結婚した組合員で、345組（398人）であった。

記念品 会津木製漆器夫婦椀

ただし、夫婦ともに組合員の場合、妻には会津木製漆器銘々皿を贈呈した。

合同銀婚式

期 日 11月13日

場 所 いわき市平 千代田会館

出席者 いわき教育事務所管内の該当者

47組 78人

⑤ 母子・父子家庭招待（9年目）

母子家庭及び父子家庭の組合員の日ごろの労をねぎらうため、親子ともども「海・山の家」又は「あづま荘」に1泊無料招待をした。

参加者 母子家庭 42組 101人

父子家庭 6組 16人

計 48組 117人

⑥ 海・山の家開設（7年目）

夏季期間中における組合員及び被扶養者の健康増進を図るため、7月1日から8月31日まで海・山の家を開設した。

この事業は、財団法人福島県教職員互助会との共同事業で実施したものであり、本年度は山の家1か所を増設し、事業の拡充を図った。

利用状況及び利用助成額は、次のとおりである。

区分	開設場所	宿泊(延べ人員)		日 帰 り		計
		組合員	被扶養者	組合員	被扶養者	
海	相馬市尾浜(浜の湯)	人 331	人 438	人 15	人 25	人 809
	相馬市尾浜(かんの)	125	122	6	4	257
	双葉郡浪江町	291	285	365	152	1,093
	いわき市久之浜町	178	219	104		501
家	いわき市四倉町	138	225			363
	いわき市平豊間	145	225	2	6	378
山	二本松市温泉	242	248	10	3	503
	西白河郡西郷村	146	145	7	14	312
	耶麻郡北塩原村	402	251			653
	河柳郡沼津町	120	162	10		292
家	南会津郡南館岩村	172	108			280
計	2,290	2,428	519	204	5,441	

利用助成額（組合員、被扶養者とも同じ）

宿泊利用 1泊につき 2,000円

（共済組合、互助会各2分の1負担）

日帰り利用 全 額

⑦ 保養所等利用助成

組合員及び被扶養者が、保養又は旅行のため、飯坂保養所「あづま荘」又は公立学校共済組合宿泊施設のうち下記施設を利用した場合、これが利用者の経済的負担の軽減を図るため、利用券を発行して助成したほか、県教委主催等の会議を、「あづま荘」の会議室を利用して開催した場合、会議室使用料の助成を行った。

なお、他支部宿泊施設の利用助成は、組合員のみを利用助成の対象とした。

助成件数及び助成額は、次のとおりである。

宿泊施設名	助 成 件 数				会議利用
	宿 泊		計	日 帰	
	組合員	被扶養者			
飯坂保養所	件 5,410	件 260	件 5,670	件 137	件 57
札幌宿泊所	32		32		
浅虫保養所	33		33		
盛岡宿泊所	30		30		
鶯宿保養所	38		38		
鳴子保養所	88		88		
秋田宿泊所	51		51		
蔵王保養所	297		297		
天童保養所	131		131		
水戸宿泊所	24		24		
鬼怒川保養所	103		103		
東京宿泊所	514		514		
新潟宿泊所	102		102		
熱海保養所	40		40		
伊豆高原保養所	11		11		
計	6,904	260	7,164	137	57

助成額

宿泊利用 1泊につき 1,000円（組合員、被扶養者とも）

日帰り利用 1日につき 300円（ " ）

会議室・使用料全額

⑧ 無医地区組合員医薬品配布（6年目）

県厚生部指定の無医地区に設置されている学校に勤務する組合員の健康保持を図るため、救急医薬品を配布した。

配布状況は、次のとおりである。

中妻小学校 9人

中妻中学校 10人

沢石小学校 10人

沢石中学校 9人

入田付小学校 9人

計 47人

⑨ 新加入組合員研修懇談会（6年目）

本年度当初新採用になった小・中学校及び県立学校の教員と事務職員を対象として、共済組合制度及び福利厚